

		さ	ま	ざ	ま	な	建	築	の	形										
愛	知	工	業	高	等	学	校	建	設	科	三	年								
																	金	剛	悠	斗
		建	築	と	い	う	言	葉	は	「	建	て	る	」	「	築	く	」	と	い
う	言	葉	で	で	き	て	い	ま	す	。	そ	の	言	葉	の	通	り	建	物	
を	建	て	る	こ	と	だ	け	だ	と	思	っ	て	い	ま	し	た	が	、	そ	
う	で	は	な	い	と	い	う	こ	と	を	工	業	高	校	で	の	三	年	間	
で	学	ん	で	き	ま	し	た	。	そ	の	重	要	な	一	面	を	実	際	に	
感	じ	た	の	は	今	年	の	春	に	起	き	た	熊	本	地	震	で	す	。	
		知	っ	て	の	通	り	あ	の	地	震	で	は	多	く	の	家	屋	が	倒
壊	し	ま	し	た	。	私	の	大	学	生	の	姉	も	当	時	南	阿	蘇	村	
に	住	ん	で	い	て	下	宿	は	全	壊	し	ま	し	た	が	、	幸	い	な	
こ	と	に	亡	く	な	っ	た	人	は	い	ま	せ	ん	で	し	た	。	後	日	
姉	が	見	せ	て	く	れ	た	壊	れ	た	建	物	の	写	真	に	は	、	危	
険	と	書	か	れ	た	赤	い	紙	が	貼	っ	て	あ	り	ま	し	た	。	そ	
の	紙	は	倒	壊	の	危	険	性	や	外	壁	や	窓	ガ	ラ	ス	の	落	下	
な	ど	の	危	険	性	を	応	急	的	に	判	定	し	、	人	命	に	関	わ	
る	二	次	的	災	害	を	防	ぐ	た	め	の	も	の	だ	と	知	り	ま	し	
た	。	そ	し	て	そ	の	判	定	を	す	る	の	が	応	急	危	険	度	判	

定士と呼ばれる養成を受けた建築関係の方々
で、ボランティアで活動していることも知り
ました。余震が続く危険な状況で活動する方
々のすごさを感じ、それとともに専門家とし
ての誇りを感じました。
工業高校で建築について教えてもらったこ
とで最初に建築の三要素というものを教えて
もらいました。それは「美」「用」「強」と
いう三つの要素。それぞれ美しさ、使いやす
さ、強さというように建築物に必要なものを
表しています。私が美しいと思った建築物の
一つがパルテノン神殿です。黄金比でつくら
れたその建築物を見た瞬間に美しいと思わさ
れる風貌に感動しました。見た目も美しいの
ですが、機械もない紀元前に建てられた建築
物が今もなおその姿そのままに残っていると
いうことに感動しました。世界にはパルテノン
神殿以外にも時代を超えて現代にある建築物
がたくさんあります。そんな建築物を残すの
にも時代を経てたくさんの人の努力があった

と、いうことを実感します。これから、その建築物を守っていくことが、建築の担う大きな役割だと感じています。そして、何百年、何千年と歴史が続いていく建築物を建てられる可能性があると、いうところにも、建築の魅力があると、思います。

先日、ある大学のオープンキャンパスに参加しました。材料の研究室では、コンクリートでコマをつくっていたり、他のところでは、揺れを起こす装置で地震を体験したりと、色々な研究発表がありました。特に印象に残ったのは、建築物の壊れ方を研究しているところでした。その方たちは、模型をつくり、重さをかけたり、大きさの壊れ方を調べていました。私は、これまで建築物は壊れないのが一番いいと思っていました。しかし、その方たちは、壊れた時に、いかに安全に壊れるのかも、大事だとおっしゃっていました。とても衝撃を受けました。こういう、地道な研究の積み重ねが、将来の建築技術を支えるのだなと、とても興味深かったです。建

